

神戸市景況・雇用動向調査

第36回 結果報告

令和4年9月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2022年9月）～結果の概要～	2
（1）業況	5
（2）生産・売上	7
（3）原材料・仕入れ価格	9
（4）採算	11
（5）資金繰り	13
（6）経営の問題	15
3. アンケート内容（オンライン調査）	16

1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数626、回収率：31.3%）

	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	3	31	42	76 (257)
非製造業	7	239	304	550 (1,743)
合計	10	270	346	626 (2,000)

() 内は調査対象企業数

(定義)

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）：従業員5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

- (3) 調査期間 2022年9月1日（木）～2022年9月20日（火）

- (4) 集計・ 報告書の数値は、DI(デフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合 (%)

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合 (%)

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

2. 神戸経済の動向（2022年9月）～結果の概要～

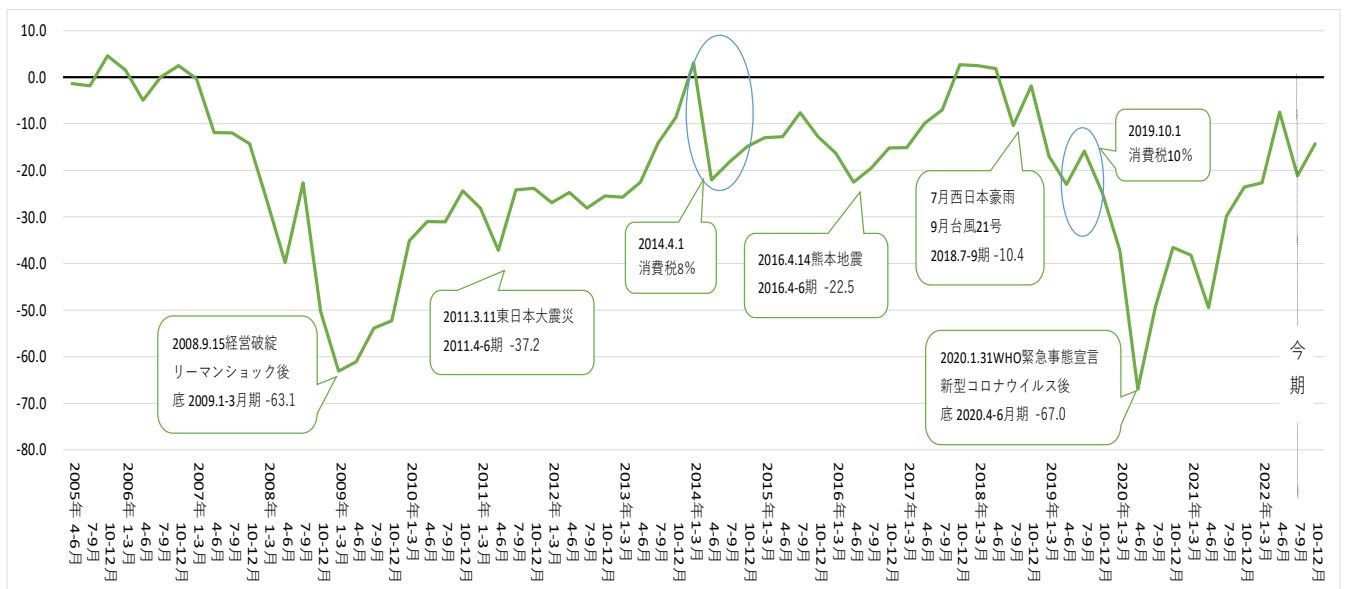
自社業況DIは、全産業でマイナス 21.2 ポイントと、前期より 13.7 ポイントの低下

先行きについて、来期は上昇に転じる見通し

- 今期（2022年7～9月期）の業況DIは▲21.2と、前期（▲7.5）と比べて13.7ポイント**低下**した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲1.3と、前期（▲8.1）より6.8ポイント**上昇**した。
非製造業の今期の業況DIは▲24.0と、前期（▲7.5）より16.5ポイント**低下**した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは20.0と、前期（▲33.3）より53.3ポイント**上昇**した。
中規模企業の業況DIは▲9.3と、前期（3.2）より12.5ポイント**低下**した。小規模企業の業況DIは▲31.8と、前期（▲15.6）より16.2ポイント**低下**した。
- 先行きについて、円安の進行による輸入物価の上昇、原油等価格高騰に伴う原材料費等仕入価格の上昇等の一服への期待感により、来期（2022年10～12月期）の業況DIは全体で▲14.3と、今期（▲21.2）より6.9ポイント**上昇**する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：626社、回収率：31.3%）

【調査時期】 2022年9月1日（木）～2022年9月20日（火）

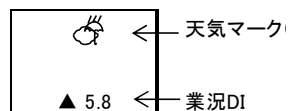


区分1	区分2	業況DI（上昇－下降）		
		2022.4～6	2022.7～9	2022.10～12 （予測）
全体		-7.5	-21.2	-14.3
規模別	大規模	-33.3	20.0	20.0
	中規模	3.2	-9.3	-4.4
	小規模	-15.6	-31.8	-23.1
業種別	製造業	-8.1	-1.3	1.3
	非製造業	-7.5	-24.0	-16.5

【業種別動向】(前期:令和4年4月～6月期、今期:令和4年7月～9月期、来期:令和4年10月～12月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
全体		7.5	21.2	14.3	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
業種別	食料品等	26.7	21.5	7.1	・今期は巣ごもり需要を得た。当面は居酒屋等の飲食店需要が回復し、小売需要が減少する見込み。(飲料製造業) ・今期は原材料価格上昇、円安で1.5倍の原価高に直面。価格転嫁を行い、正月商戦を見据えて上昇見込み。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	25.0	27.3	27.3	・6～7月から価格転嫁の交渉を始め今期は売上を維持。ただ、今後の原材料価格上昇や為替変動を懸念している。(プラスチック製品製造業) ・今期は原価高騰もあったが、半導体洗浄分野の好調は当面続く見込み。ただ、これ以上の原価高騰や人手不足は業界の疲弊に繋がる。(化学工業)
	ゴム製品製造業	25.0	20.0	40.0	・今期は円安で輸出が好調。運輸費の価格転嫁もできたが、10月以降も原材料価格は高止まりと予測。(ゴムベルト製造業) ・4月頃より回復し始め、今期も堅調に推移し、当面、同程度の売上推移を予測。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	12.5	18.2	9.1	・取引先の分散によって、ブレの少ない受注状況で当面、堅調に推移する見込み。ただ、価格転嫁による内需の不振を懸念。(金属製品製造業) ・受注量は落ちず、価格転嫁もし易い環境。当面、手堅い推移を見込む、人手不足の対応が課題。(製缶板金業)
	一般機械器具	20.0	20.0	40.0	・今期は補助金関連の案件が増加し、来期に案件を持ち越せた。しかし、部品供給の鈍化が進む事を懸念。(生産用機械器具製造業) ・民間減少分を官公庁案件でカバーし、当面大きな変化は無いと見込み、供給悪化、競合激化が課題。(はん用機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	50.0	11.1	22.2	・数年前から供給不足が続いている。来期は既に案件を獲得して安定推移を見込むが、人手不足が長期課題。(電気機械器具製造業) ・原価高騰・供給不安によって売上が伸び悩んでいる。現状、これらの問題に打開策が無く、有効な解決策が無い。(輸送用機械器具製造業)
	その他の製造業	0.0	19.1	0.0	・人材育成の成功で受注増加。当面の受注も確保しているが、今後は価格転嫁のタイミングを窺っている。(真珠・貴金属製造業) ・コロナ関連規制の緩和により好調。今後は価格転嫁も行う中でも大きな変化は無いと見込み、国内需要は先細りの状態。(なめし革・同製品・毛皮製造業)
	建設業	25.9	29.1	24.2	・今期は価格改定の看板変更案件が増加したが、来期は原価高騰の影響が出始める事で下降に転じる見込み。(建設業) ・官公庁案件の増加により今期は上昇に転じたが、人手不足や価格高騰で案件が流れる事もあり、当面継続的な上昇は見込んでいない。(建設業)
	運輸・倉庫業	7.7	21.4	21.5	・固定客からの仕事が多く価格交渉が無い為、売上を維持。現在のガソリン価格は頭打ち感があり、当面、大きい変化は無いと予測。(運輸・倉庫業) ・コロナ禍の終息が見えたが、利用者は横這い。秋はレジャー利用が増えるが、ガソリン価格の上昇を踏まえると利益は少ない。(運輸・倉庫業)
	卸売業	6.4	24.7	13.0	・景況感に大きな変化は起きていない。10月には原材料の高騰分を価格転嫁するが、飲食店に於ける売上状況に変化は起きないと予測している。(茶類卸売業) ・円安で輸出は好調。価格転嫁も順次進めているが、売上として劇的な変化は無い。当面、円安は続くと思われるが、今後、供給面の遅れを懸念。(貴金属卸売業)
	小売業	20.0	33.3	30.6	・今期はコロナ禍第7波の影響で伸び悩み、秋以降は本来売上が伸びる時期だが靴の購入スパン長期化で売上は伸び悩むと予測。(靴小売業) ・巣ごもり需要を得たが、原材料価格や円安で利益面の恩恵は無し。来期新店舗の出店を行うが、人手不足が目下の課題となっている。(食料品小売業)
	不動産業	2.0	21.2	15.4	・月極駐車場に空きがでる悪い状態。車の納期遅れが要因と見て、当面は改善を望まず、競合も激化。(駐車場業) ・店子を入れ替わるが、大きく変動せず、当面は変化が無いと見込む。ただ、商業施設との競争激化を懸念。(貸事務所業)
	情報サービス	38.5	5.3	5.3	・4月以降は引き合いが増えて今期も好調。当面、引き合いが多く上昇する見込みであるが、人材の確保が課題。(ソフトウェア開発業) ・イベント関連の売上は回復傾向だが、コロナ禍前の4割程。案件の性質がリアルからバーチャルに変化したため需要後退が課題。(映像・音楽制作業)
	宿泊・飲食	39.7	31.5	8.2	・コロナ禍の影響で悪い状態が続く。物価上昇から厳しい状況が続いている。10月以降は価格転嫁を検討している。(食堂・レストラン業) ・利用客は増えているが、大きく回復しているわけではない。10月以降の予約状況を鑑みても大きな変化は無いと予測。(旅館・ホテル・宿泊業)
	対事業所サービス	4.5	8.6	5.7	・価格上昇による利益率の低下で悪い状態が続いている。10月以降の案件は確保しているが、人手不足が課題。(ビルメンテナンス業) ・今期は長期休暇があった為、宿泊関連の需要が増加。当面に関しては連休が少なく売上は減少に転ずる見込み。(りねんサプライ業)
	対個人サービス	14.9	18.9	15.5	・今期コロナ禍の第7波により外出頻度が減少した影響で下降。10月期は値上げに加えて外出頻度の改善を見込み上昇予測。(洗濯業) ・ゴルフ業界はコロナ禍の影響も大きく受けていないが、企業のゴルフコンペは減少。反面、一般顧客が増加している。(ゴルフ場)

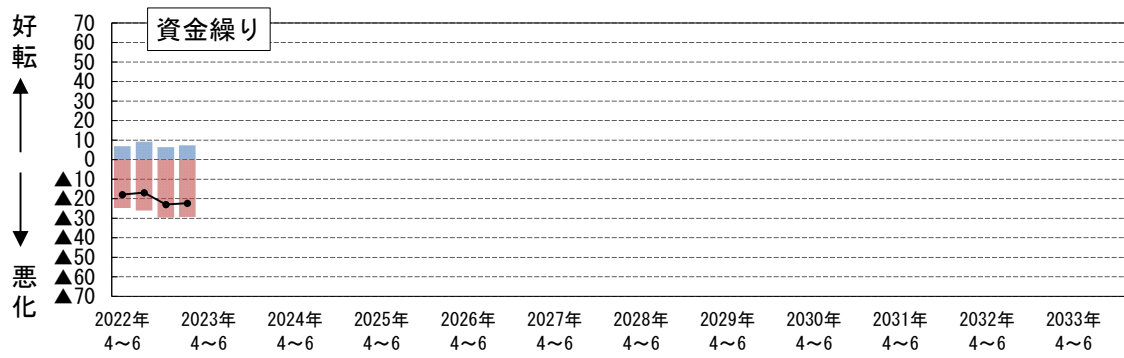
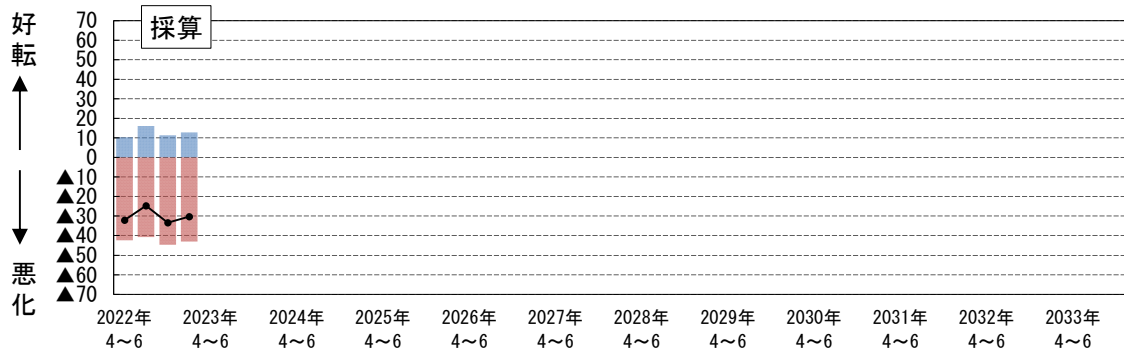
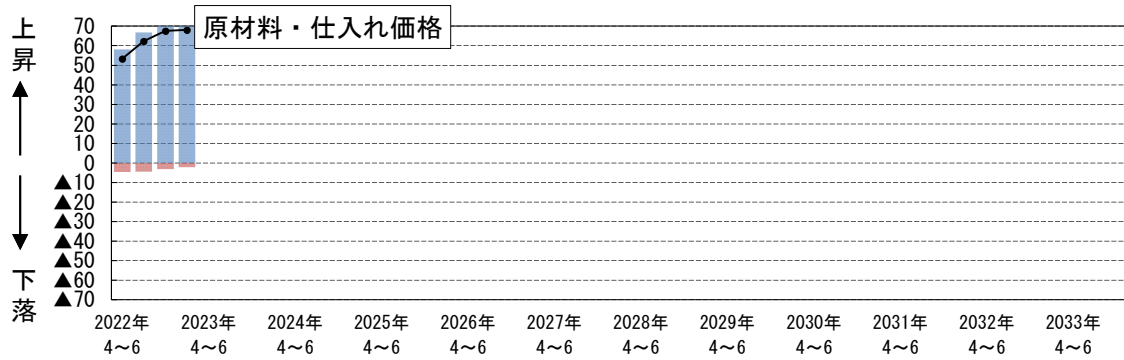
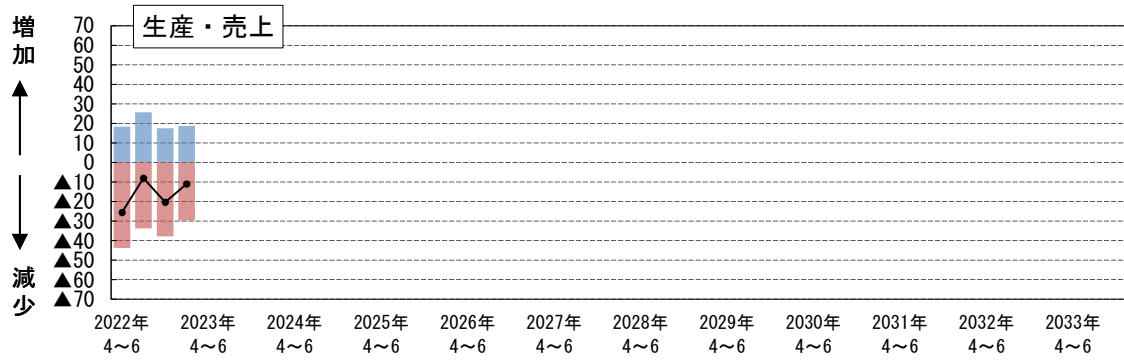
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0～▲40.1	▲40.0～▲20.1	▲20.0～▲5.1	▲5.0～5.0	5.1～20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

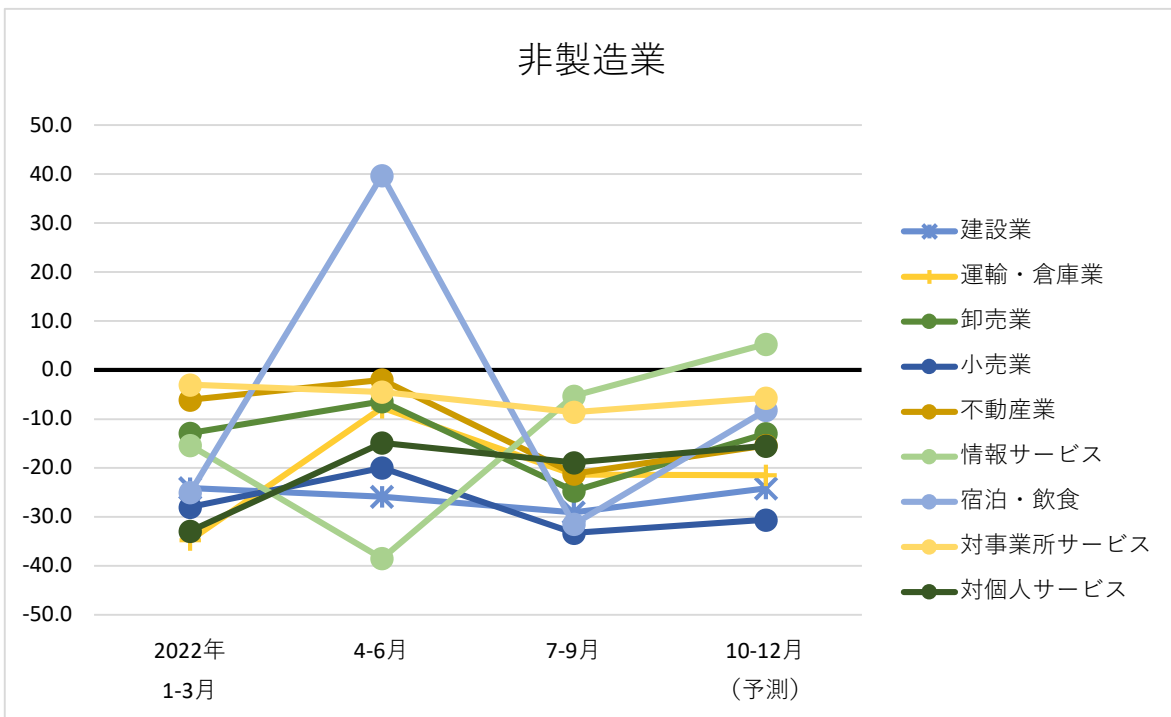
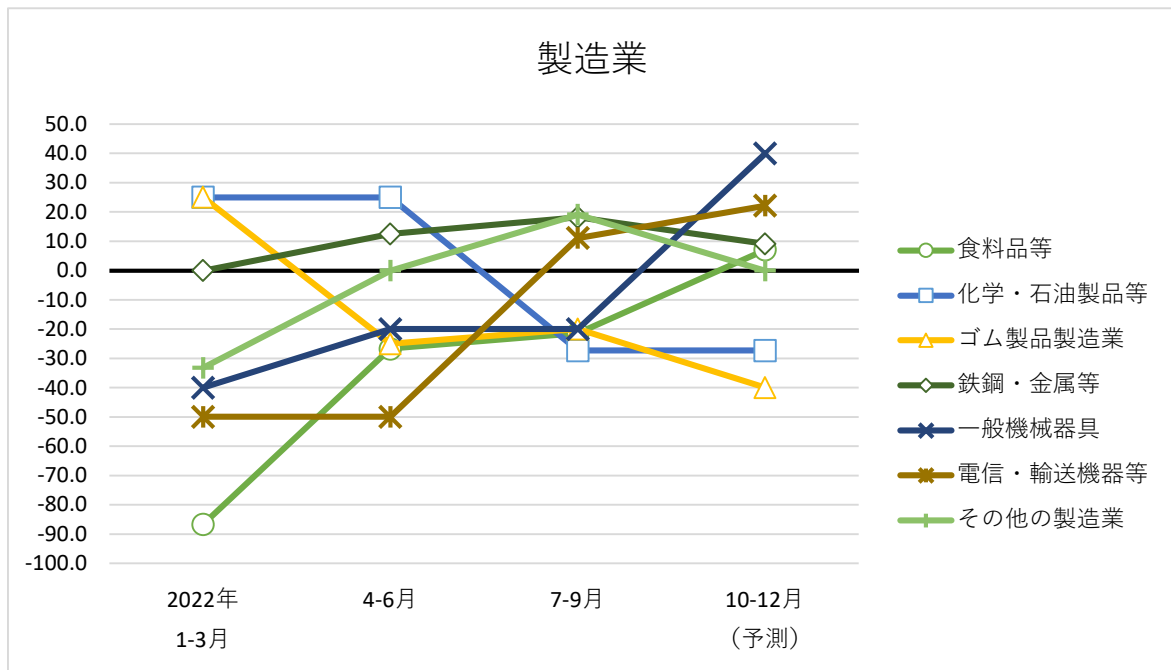
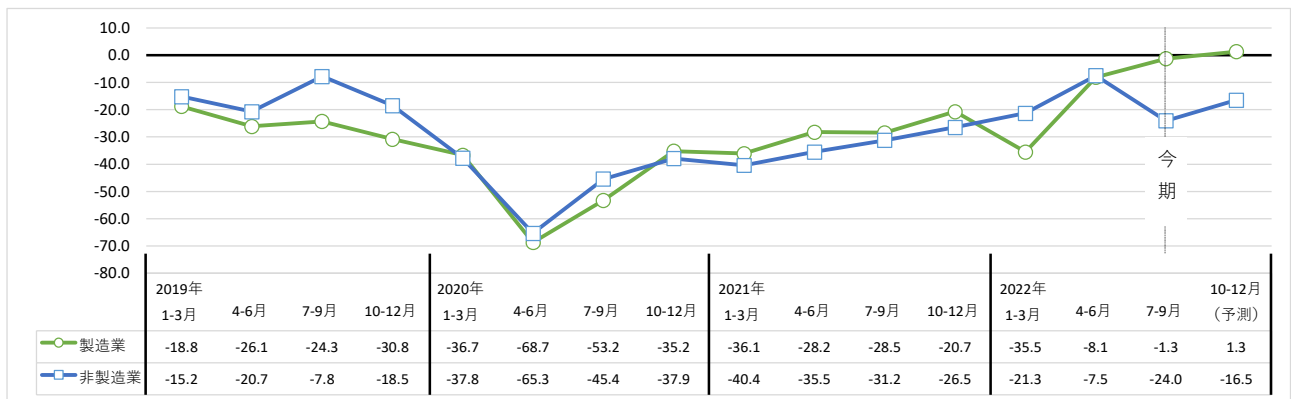
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

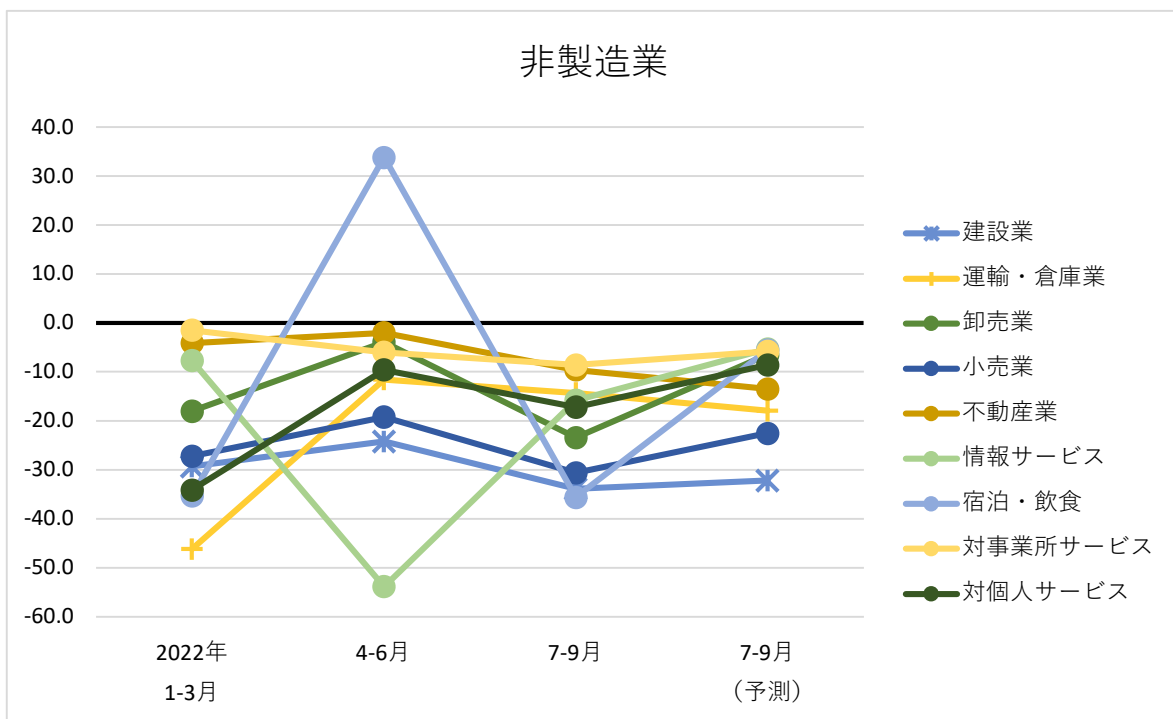
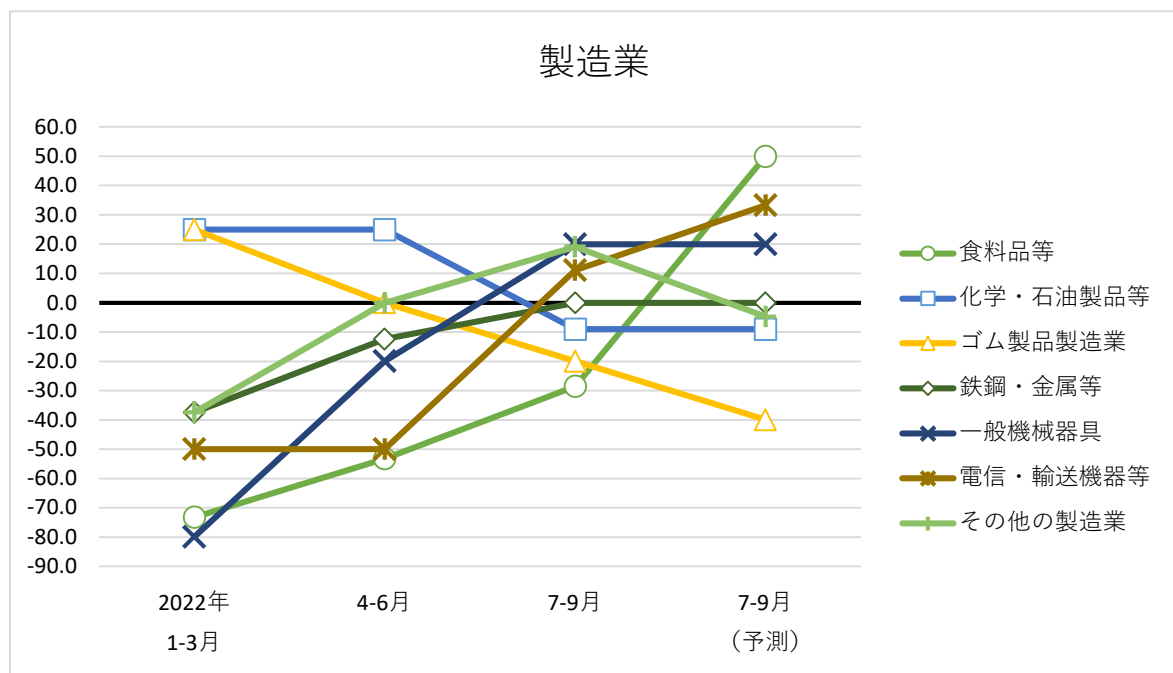
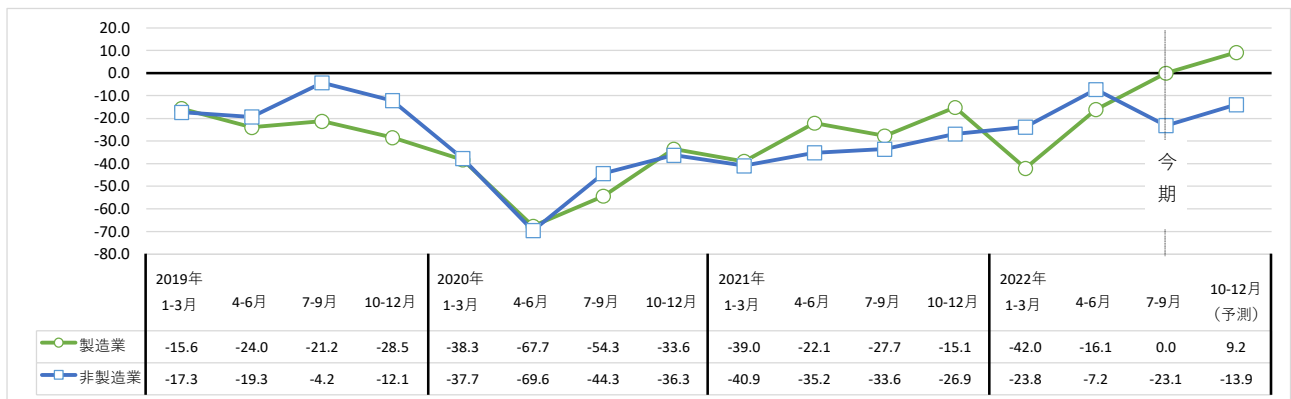


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇－下降）			
			2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12 （予測）	
全体			-7.5	-21.2	-14.3	
規模別	大規模		-33.3	20.0	20.0	
	中規模		3.2	-9.3	-4.4	
	小規模		-15.6	-31.8	-23.1	
業種別	製造業		-8.1	-1.3	1.3	
		食料品等	-26.7	-21.5	7.1	
		化学・石油製品等	25.0	-27.3	-27.3	
		ゴム製品製造業	-25.0	-20.0	-40.0	
		鉄鋼・金属等	12.5	18.2	9.1	
		一般機械器具	-20.0	-20.0	40.0	
		電信・輸送機器等	-50.0	11.1	22.2	
		その他の製造業	0.0	19.1	0.0	
		非製造業		-7.5	-24.0	-16.5
		建設業		-25.9	-29.1	-24.2
		運輸・倉庫業		-7.7	-21.4	-21.5
		卸売業		-6.4	-24.7	-13.0
		小売業		-20.0	-33.3	-30.6
		不動産業		-2.0	-21.2	-15.4
		情報サービス		-38.5	-5.3	5.3
		宿泊・飲食		39.7	-31.5	-8.2
		対事業所サービス		-4.5	-8.6	-5.7
	対個人サービス		-14.9	-18.9	-15.5	

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

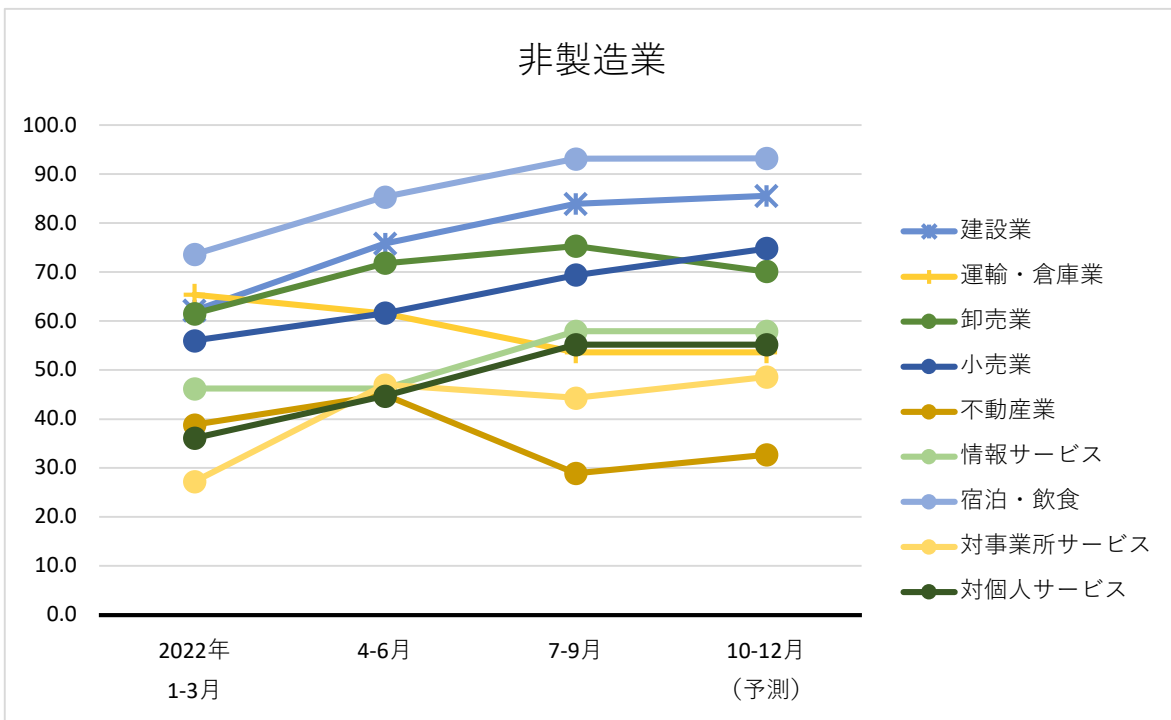
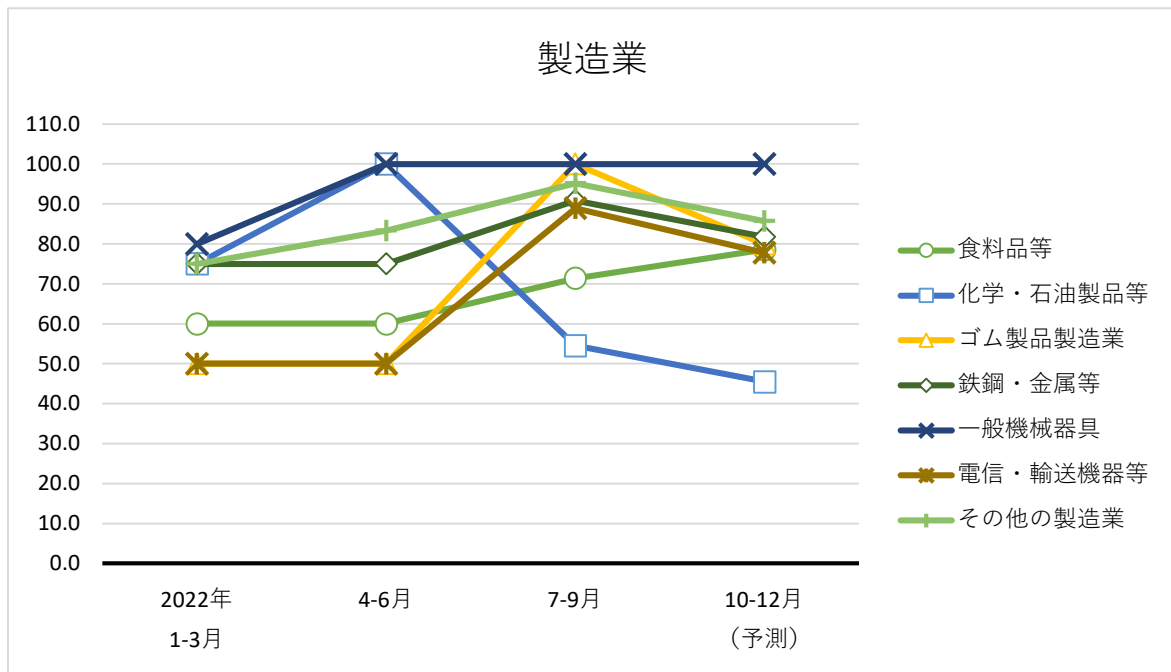
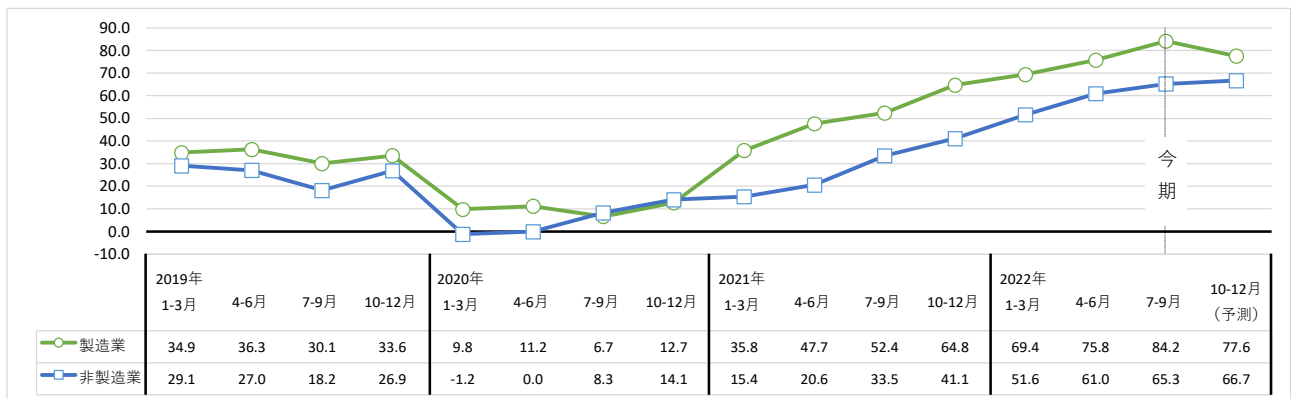


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）			
			2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12 （予測）	
全体			-8.1	-20.3	-11.0	
規模別	大規模		-33.3	0.0	10.0	
	中規模		3.3	-8.9	0.7	
	小規模		-16.7	-29.7	-20.8	
業種別	製造業		-16.1	0.0	9.2	
		食料品等	-53.3	-28.6	50.0	
		化学・石油製品等	25.0	-9.1	-9.1	
		ゴム製品製造業	0.0	-20.0	-40.0	
		鉄鋼・金属等	-12.5	0.0	0.0	
		一般機械器具	-20.0	20.0	20.0	
		電信・輸送機器等	-50.0	11.1	33.3	
		その他の製造業	0.0	19.1	-4.8	
		非製造業		-7.2	-23.1	-13.9
		建設業	-24.2	-33.9	-32.2	
		運輸・倉庫業	-11.6	-14.3	-17.9	
		卸売業	-3.9	-23.4	-6.5	
		小売業	-19.2	-30.6	-22.5	
		不動産業	-2.0	-9.6	-13.5	
		情報サービス	-53.8	-15.8	-5.3	
		宿泊・飲食	33.8	-35.6	-5.5	
	対事業所サービス	-6.0	-8.6	-5.8		
	対個人サービス	-9.6	-17.2	-8.6		

(3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下落と回答」 (%)

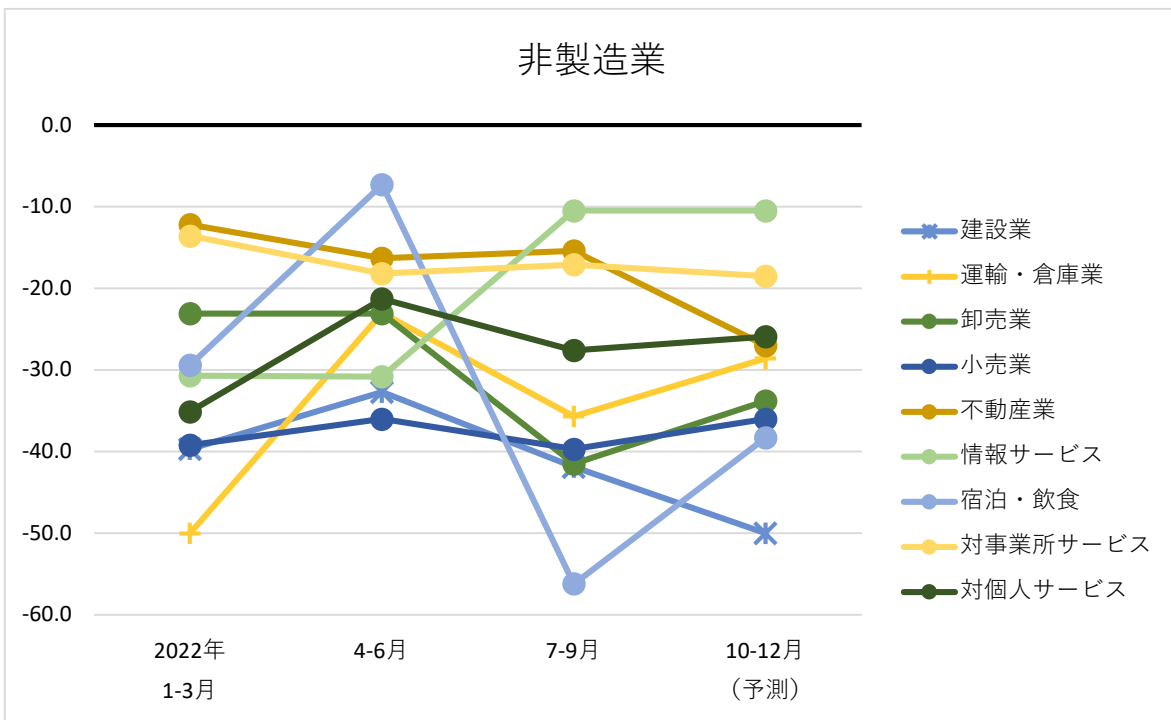
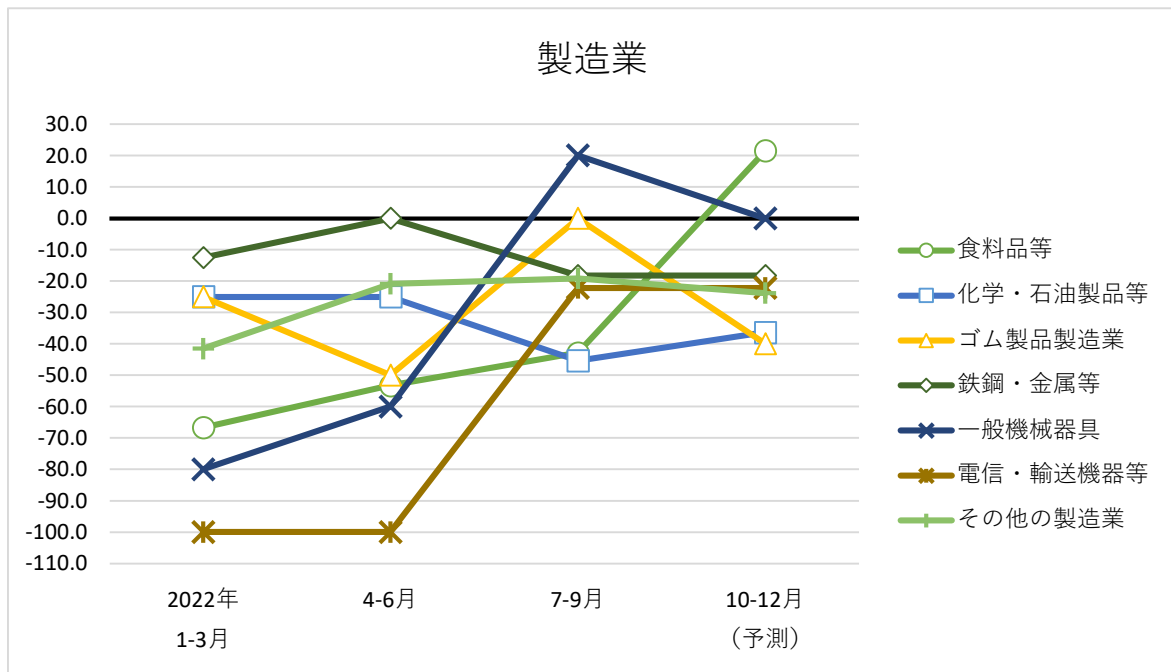
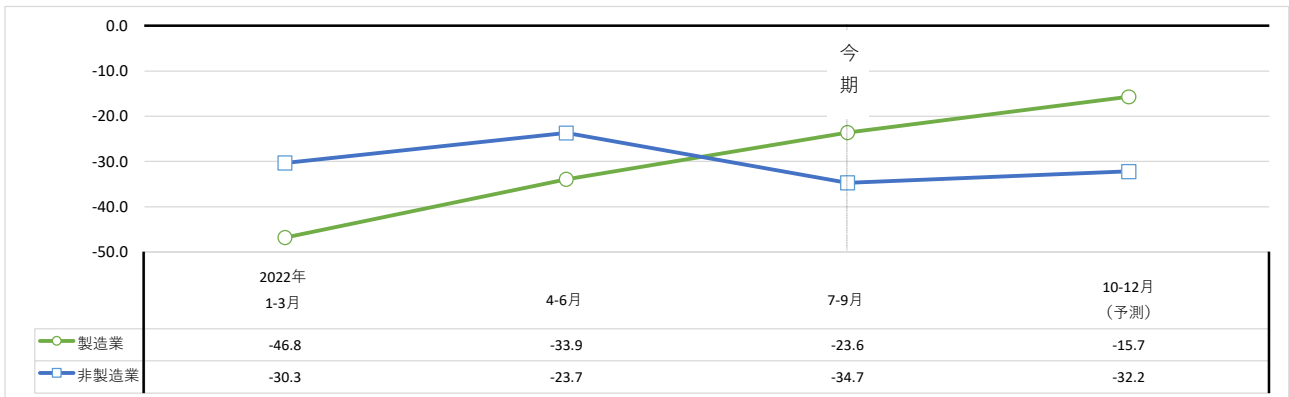


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇一下落）		
			2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12 （予測）
全体			62.4	67.6	68.1
規模別	大規模		0.0	50.0	60.0
	中規模		68.5	72.5	71.5
	小規模		58.3	64.2	65.6
業種別	製造業		75.8	84.2	77.6
		食料品等	60.0	71.4	78.6
		化学・石油製品等	100.0	54.5	45.5
		ゴム製品製造業	50.0	100.0	80.0
		鉄鋼・金属等	75.0	90.9	81.8
		一般機械器具	100.0	100.0	100.0
		電信・輸送機器等	50.0	88.9	77.8
		その他の製造業	83.3	95.2	85.7
		非製造業	61.0	65.3	66.7
		建設業	75.8	83.9	85.5
		運輸・倉庫業	61.5	53.6	53.6
		卸売業	71.8	75.3	70.1
		小売業	61.6	69.4	74.8
		不動産業	44.9	28.9	32.7
		情報サービス	46.2	57.9	57.9
		宿泊・飲食	85.3	93.1	93.2
		対事業所サービス	47.0	44.3	48.6
		対個人サービス	44.7	55.2	55.2

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

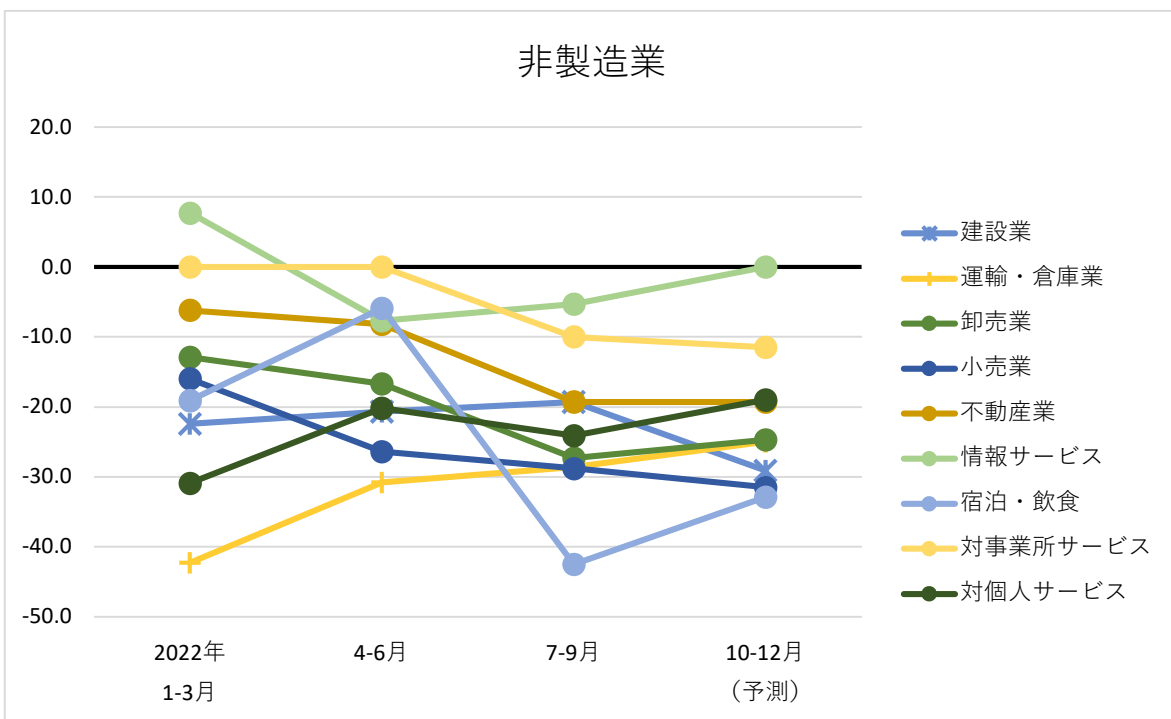
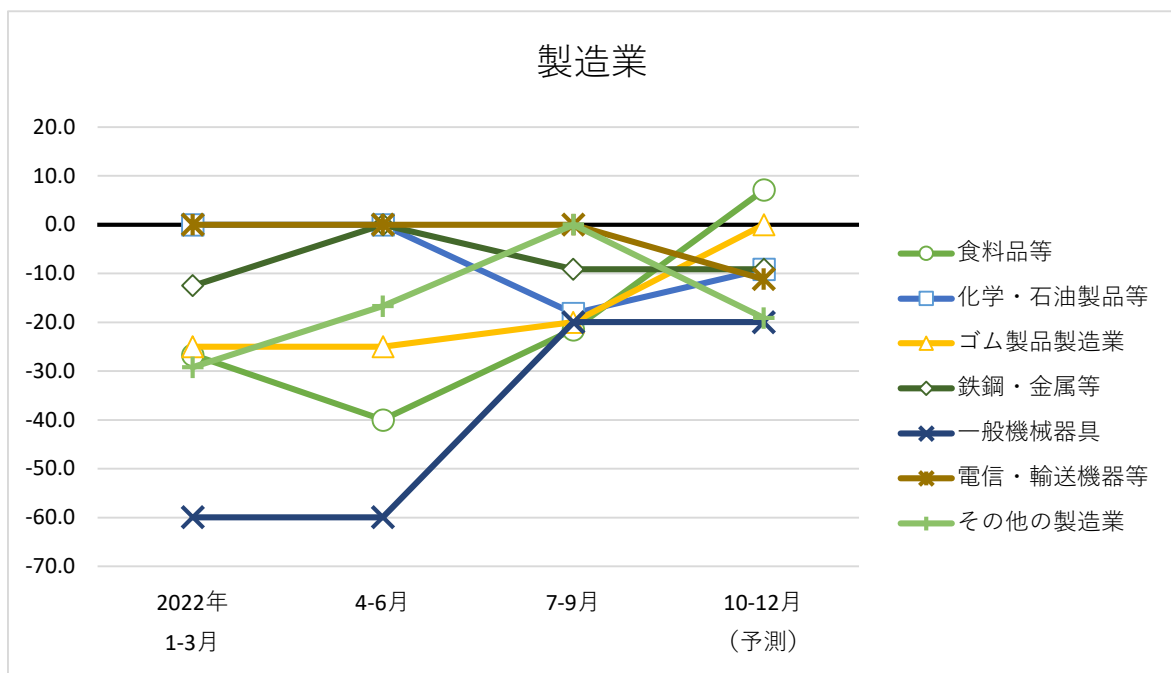
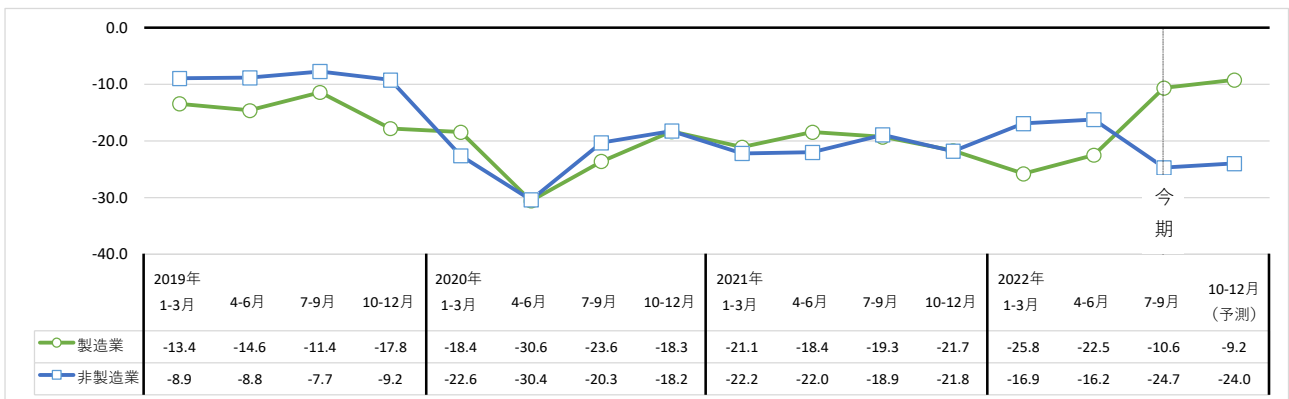


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）			
			2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12 （予測）	
全体			-24.7	-33.4	-30.2	
規模別	大規模		-33.3	10.0	20.0	
	中規模		-16.0	-26.3	-22.2	
	小規模		-31.4	-40.2	-37.9	
業種別	製造業		-33.9	-23.6	-15.7	
		食料品等	-53.3	-42.9	21.5	
		化学・石油製品等	-25.0	-45.4	-36.4	
		ゴム製品製造業	-50.0	0.0	-40.0	
		鉄鋼・金属等	0.0	-18.2	-18.2	
		一般機械器具	-60.0	20.0	0.0	
		電信・輸送機器等	-100.0	-22.2	-22.2	
		その他の製造業	-20.9	-19.1	-23.8	
		非製造業		-23.7	-34.7	-32.2
		建設業	-32.7	-41.9	-50.0	
		運輸・倉庫業	-23.0	-35.7	-28.6	
		卸売業	-23.1	-41.5	-33.8	
		小売業	-36.0	-39.7	-36.0	
		不動産業	-16.3	-15.4	-27.0	
		情報サービス	-30.8	-10.5	-10.5	
		宿泊・飲食	-7.3	-56.2	-38.3	
		対事業所サービス	-18.2	-17.1	-18.5	
	対個人サービス	-21.3	-27.6	-25.9		

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）			
			2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12 （予測）	
全体			-16.9	-23.0	-22.3	
規模別	大規模		-33.3	0.0	10.0	
	中規模		-10.8	-19.6	-16.7	
	小規模		-21.4	-26.3	-27.5	
業種別	製造業		-22.5	-10.6	-9.2	
		食料品等	-40.0	-21.5	7.1	
		化学・石油製品等	0.0	-18.2	-9.1	
		ゴム製品製造業	-25.0	-20.0	0.0	
		鉄鋼・金属等	0.0	-9.1	-9.1	
		一般機械器具	-60.0	-20.0	-20.0	
		電信・輸送機器等	0.0	0.0	-11.1	
		その他の製造業	-16.7	0.0	-19.1	
		非製造業		-16.2	-24.7	-24.0
		建設業	-20.7	-19.3	-29.1	
		運輸・倉庫業	-30.8	-28.6	-25.0	
		卸売業	-16.7	-27.3	-24.7	
		小売業	-26.4	-28.8	-31.5	
		不動産業	-8.2	-19.3	-19.3	
		情報サービス	-7.7	-5.3	0.0	
		宿泊・飲食	-5.9	-42.5	-32.9	
	対事業所サービス	0.0	-10.0	-11.5		
	対個人サービス	-20.2	-24.1	-19.0		